

新車両の運行状況

運行便数・乗車人数 R8.1.24~R8.2.11実績

運行便数 **99 便**

乗車人数 **1,143 人** (約**11.5 人/便**)

R8.1.17~23 関係者試乗：国土交通省、警察、自治会連合会長 ほか

1便あたり乗車人数

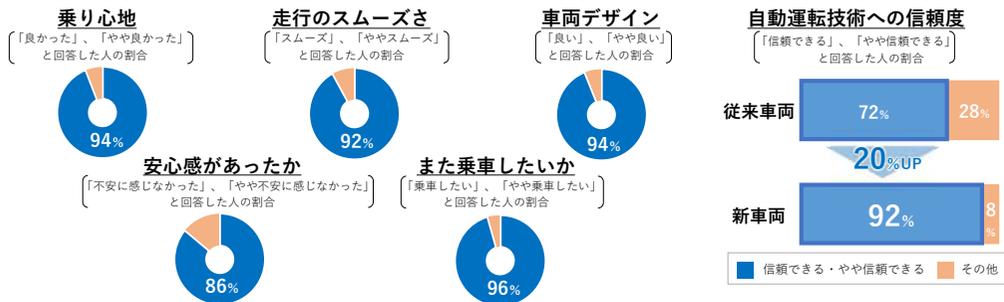
1.3 倍

※新車両運行開始前比



新車両に関する意見

乗客アンケート速報値(R8.1.24~2.4)



- ・高度な車両性能による乗り心地の良さ、走行のスムーズさや車両デザインなど**高い評価**
- ・従来車両と比較し、**自動運転技術への信頼度が格段に向上**

- ・スムーズな走行に感動
- ・乗り心地がすごくいい
- ・いつ免許返納しても安心
- ・車両デザインがかっこいい
- ・座席が前向きで快適
- ・岐阜公園ルートに拡大して欲しい など

好評の声 続々!

乗客の声

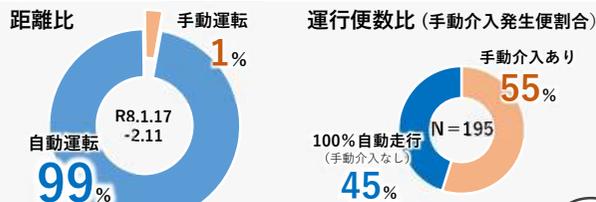
※アンケート調査における自由意見



- ・車内無人化は不安
- ・路上駐車禁止など、人間がルールを守らないと自動運転車との共存は難しい
- ・速度が上がるともっとスムーズ など

実装に向けた課題

自動運転割合



主な課題

- ① 特定状況下での**障害物回避** (長良橋通り)
 - ・交差点付近での黄線内やバス停付近等における違法駐車を自動回避できず停車し、手動介入
- ② 特定交差点での**信号認識** (名鉄岐阜駅前、金町8)
 - ・交差点での信号待ち停車中、信号が青に変わっても稀に信号を認識できず発車しないことに伴う手動介入
- ③ **ウインカー指示**
 - ・車線変更時のウインカー表示の遅れ (3秒以上に出す必要あり)

プログラム改修 検閲中

100%自動走行の積み重ね、レベル4許認可を経て、日本初となる中心市街地での**レベル4自動運転実現**を目指す

社会受容性の向上

自動運転バス運行への理解

乗客アンケート速報値(R8.1.24~2.4)

路上駐車台数の推移

※2ルートの路上駐車台数調査 合計(平日・休日 各1日)



駐停車禁止の協力

「できる」、「ややできる」と回答した人の割合 **87%** → **88%** → **93%**

車線変更時に道を譲れるか

「できる」、「ややできる」と回答した人の割合 **93%**

継続運行や新車両の運行開始などにより理解が進み、路上駐車が減少

社会受容性向上に向けた取り組み

学校モビリティマネジメント

・累計29校、約1,700人が参加 (全小学校で順次実施中)

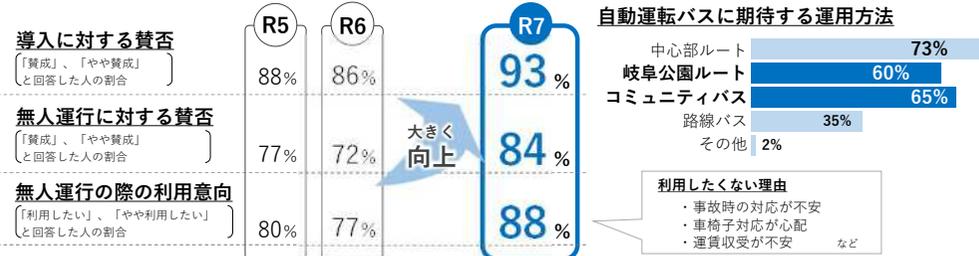
認知度向上と利用機会創出

- ・公共交通フェスタ (R7.11.8-9)
- ・プロ野球スポンサーゲームにおけるPR (R7.7.19-20)
- ・乗車プレゼント企画「GIFU HEART BUSと夏のお出かけ」
- ・岐阜公園周辺施設連携企画「せっかくやでバスで来やー。」



自動運転バスの導入に関する意見

乗客アンケート速報値(R8.1.24~2.4)



- ・自動運転バスの導入や無人運行に賛成する割合が大きく向上
- ・岐阜公園ルートやコミュニティバスへの展開が期待大

今後の方針

継続運行による「**技術の検証**」と、「**社会受容性の向上**」に取り組むとともに、社会実装を見据えた「**ビジネスモデルの検討**」を進め、**公共交通への自動運転技術の導入**を実現



社会受容性の向上に向けた取り組みを継続